

Block 1-4 期

(13)

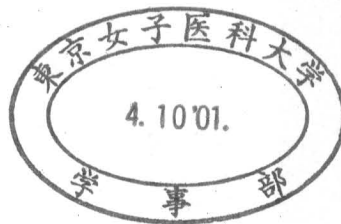
Tutorial 課題 No. 13

「障害物をクリアしてゴール！！」

(薬物の体内動態と作用機序 [解熱鎮痛薬])

2001

薬理学教室



2001-B1-T4-13
障害物をクリアしてゴール!!

シート 1

今度の日曜日は楽しみにしている春の町内大運動会です。女子医大生の翔子さんは、障害物競走に出場します。

母「障害物競走ってどんな障害物があるの？」

翔子「ええっと、初めに梯子をくぐって、次にタイヤを引っ張って、それから網をくぐり抜けて・・・。」

母「大丈夫？顔色悪いんじゃないの？熱はないの？」

翔子「うん、ちょっと寒気がして熱っぽいのよ。」

翔子さんは、体温計で体温を計ってみると38℃の熱がありました。

【抽出を期待する事項】

発熱の機序

シート 2

翔子さんは、熱を下げるために解熱薬を飲むことにしました。
翔子「この薬は、『早く効く。』って書いてあるけど、飲んだら直ぐ効くのかしら？ ええっと、15才以上、一回2錠、一日2回を限度として服用って書いてあるわ。」

翔子さんは、薬が苦そうだったので、グレープフルーツジュースといっしょに飲むことにしました。

解熱薬を飲んでから一時間後、熱は徐々に下がってきました。翔子さんは、このままずっと熱が下がってくれたらな、と思いました。

【抽出を期待する事項】

薬物の体内動態（吸収、分布、代謝、排泄）

解熱鎮痛薬の作用、作用機序

薬の用量と反応の関係

（薬物感受性の個人差）

シート3

次の日の朝、翔子さんの熱は再び上がってきてしまいました。
母「早く効く薬は、効き目がなくなるのも早いのかしら？」
翔子「小学生のころ、病院でもらった坐薬はわりと早く効いたけど・・・」
母「人によっても効き目は違うみたいよ。」
翔子さんは、再び解熱薬を飲んでしばらく眠ることにしました。
そして、夢の中・・・。
運動会の障害物競走に出場した翔子さんの競走相手には、足の早そうな人、痩せている人、力のありそうな人や様々な人がいました。でもその中で翔子さんは、色々な障害物をスイスイとクリアして見事一着でゴールしました。
そのころ、薬も効いて翔子さんの熱も下がってきました。

【抽出を期待する事項】
薬物の投与経路と剤形による薬効の差異
(薬物感受性の個人差)

2001-B1-T4-13
障害物をクリアしてゴール！！

〈資料・教材リスト〉：解熱薬（バツファリン）の添付文書

薬の添付文書には、成分、効能、用法・用量、使用上の注意などが記載されている。シート2の内容から、学習項目として「解熱薬」が抽出された時に用い、配合されている薬の成分、用法・用量などを参考にす。

バツファリン

【成分】
アセチルサリチル酸

【用法・用量】
1日3回、1回1錠を食後、または食前、または食中、または食後、または食前、または食中、または食後に服用する。

【注意】
1. 胃腸障害、胃痛、嘔吐、下痢、便秘、腹痛、消化不良、食欲不振、体重減少、貧血、出血傾向、アレルギー反応、皮膚発疹、発熱、頭痛、めまい、耳鳴り、視力障害、聴覚障害、腎機能障害、肝機能障害、血液障害、骨髄抑制、造血機能障害、免疫機能障害、内分泌機能障害、代謝機能障害、神経機能障害、精神機能障害、生殖機能障害、発達障害、先天性異常、後天性異常、副作用、禁忌症、相互作用、併用薬、投与期間、廃棄方法、その他。

【成分】
アセチルサリチル酸

【用法・用量】
1日3回、1回1錠を食後、または食前、または食中、または食後に服用する。

【注意】
1. 胃腸障害、胃痛、嘔吐、下痢、便秘、腹痛、消化不良、食欲不振、体重減少、貧血、出血傾向、アレルギー反応、皮膚発疹、発熱、頭痛、めまい、耳鳴り、視力障害、聴覚障害、腎機能障害、肝機能障害、血液障害、骨髄抑制、造血機能障害、免疫機能障害、内分泌機能障害、代謝機能障害、神経機能障害、精神機能障害、生殖機能障害、発達障害、先天性異常、後天性異常、副作用、禁忌症、相互作用、併用薬、投与期間、廃棄方法、その他。